

【研究部】

1 活動方針

- (1) 県小学校長会の活動及び活動の重点を受け、本会研究部と各支会研究部の連絡を密にし、共通理解に立った組織的な研究の推進が図られるようにし、第54回福島県小学校長会研究協議会安達大会での協議の成果を学校経営に反映していく。
- (2) 事務局との連携を図り、円滑な運営に努める。
- (3) 全連小・東北連小との連携による調査研究等に努める。
- (4) 全連小福島大会を見据えた運営に努める。

2 主な活動

- (1) 研究主題に基づく研究と実践
 - ① 研究主題「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を受けて設定した、副主題「福島に誇りをもち 多様な他者と協働しながら持続可能な社会を創る子どもを育てる学校経営と校長の在り方」に基づいて第Ⅲ期の第2年次研究（令和6・7年度の2か年継続）を推進する。
 - ② 第54回福島県小学校長会研究協議会安達大会を開催する。10課題20視点について、計画的で組織的な実践研究を「研究集録」としてまとめ、ホームページにアップする。
 - ③ 第65回東北連合小学校長会研究協議会秋田大会において、福島県代表として、第3分科会の「知性・創造性」視点1を岩瀬支会が、第8分科会「危機対応」視点1を南会津支会が発表する。
 - ④ 第77回全国連合小学校長会研究協議会福岡大会に会員の代表が参加し、研究を深める。
- (2) 組織的・計画的運営のための諸会議の開催
 - ① 各支会との連携を密にして、研究実践が充実するように諸会議を開催する。
 - 研究部長会（3回）
5月9日（金） 11月19日（水） 1月14日（水）
 - 研究部幹事会（7回）
4月17日（木） 6月4日（水） 7月11日（金）
10月10日（金） 11月6日（木） 1月6日（火）
2月25日（水）
 - 第54回福島県小学校長会研究協議会安達大会に係る会議
 - ・ 安達大会実行委員会（随時）
 - ・ 安達大会分科会打合せ会 6月25日（水）
- (3) 教育課程改善のための調査研究
 - ① 東北連小教育課程委員会（2回）での協議（県研究部長参加）
 - ② 全連小三地区調査研究担当者連絡協議会での協議（県研究部長参加、各支会の実態をまとめて資料作成）
- (4) 全連小・東北連小大会等に関わる協力
 - ① 第65回東北連合小学校長会秋田大会
令和7年7月3日（木）～4日（金）
 - ② 第77回全連小福岡大会
令和7年10月16日（木）～17日（金）

3 その他

- (1) 令和9年全連小福島大会への対応
 - ① 研究主題に基づく副主題について全連小理事会へ提案する。
 - ② 13分科会になるため、令和7年度より研究部幹事を13名とする。増員の3名は郡山支会より選任する。
 - ③ 令和8・9年度の「研究の手引き」は13分科会対応で作成する。
 - ④ 分科会における協議の進め方について安達大会で試行する。
- (2) 刊行物について
 - ① 本年度以降「研究集録」と「支会研究報告書」の冊子は作成しない。
 - ② 「研究の手引き」は作成し、全会員に配付する。